# 質　問　用　紙　（　理　事　会　用　）

| | |
|---|---|
| 所属地域 | 中部会　：公益社団法人岐阜県不動産鑑定士協会 |
| 氏　　名 | 森島信夫 |
| 質問事項<br><br>※1　質問内容は具体的にご記入下さい。<br><br>※2　質問用紙1枚につき1件ご記入下さい。 | ２．その他（理事会運営について） |

（内容）　執行部（常務理事会）にお尋ねします。

協会定款第１３条並びに２１条の主旨に則り、理事会運営に関して質問します。
理事会に上程されるのは審議案件と報告案件がございますが、審議案件に異議や質疑が無い場合もしくは少ない場合には、報告案件に関わる説明ではなく、質疑に多くの時間を与えて頂きたいと考えますが、会長は如何お考えでしょうか、お尋ねします。

前２８４回理事会の議事進行案を拝見しますと、議案（懲戒委員選任、会費減免承認）審議に１５分、報告事項説明に１０５分を割き、１５：５０閉会予定となっております。　報告事項に関連した理事質問は報告に併せて回答するとありますが、質疑よりも報告事項の説明に多くの時間を割り振られました。

理事会開催予定時間は２時間２０分でありますが、そのうち２時間近くを報告事項説明（報告者の事案朗読）に費やされたのです。　理事会審議事項も報告事項も、一週間以上前に事前配布済みであり、理事は精読の上にて理事会に臨んでおります。　精読済み案件について担当委員長等から延々と朗読をいただくのは、限られた時間の浪費と考えます。

執行部（常務理事会）が報告事項を説明するのは要点・骨子だけとされ、理事質問に対する質疑応答に多くの時間を与えられるよう望みます。

特に次回第２８５理事会には喫緊の重要課題である「新スキーム改善一次案」並びに「依頼者プレッシャー対策案」が報告されます。　事案の重要度並びに鑑定協会会務執行上の優先順位を考えれば、両報告事項に関わる質疑に理事会審議時間の大半を割いて然るべきであろうと考えます。　また理事会は１６時閉会が予定されていますが、事案質疑の重要性に鑑みれば１７時閉会予定が相当であろうと考えます。

理事会の形骸化が云われて久しいものがございますが、理事会を形骸化したそもそもの原因は執行部による報告案件の朗読偏重にあると考えます。　精読済み案件の朗読に時間を浪費することなく、稔りある審議に理事会運営の重心をおかれるよう切望致します。